解説

かんがい事業における企業局の役割

1　企業局の役割

企業局は、胆沢第二発電所や岩洞第一発電所、仙人発電所の建設工事において、国（かんがい事業）との共同事業で取水堰堤、取水口、導水路及び水圧鉄管路等の共同施設を築造しました。

これらの共同施設の運用にあたり、企業局は、国から受託して維持管理を行うとともに、かんがい事業を優先して発電使用水量を調整し、農業用水の安定供給を行っています。

2　企業局の主な業務

- 共同施設である取水堰堤や取水口に設置された水門設備については、24時間体制の遠方監視で取水量や運転状態を監視・制御しています。
- かんがい期間中は、農業用水の安定供給を優先して発電所の使用水量を調節しています。
- 共同施設の維持管理については、定期的な点検、整備及び修繕・改良等の保守業務を行っています。
- 共同施設に災害や故障等が発生した際には、速やかに復旧しています。
- 発電所が故障等で停止した場合、代替設備から放流して農業用水を供給しています。

3　農業用水の供給概要

胆沢第二発電所では、胆沢ダムの下流にある若柳堰堤（共同施設）から、発電と農業用あわせて最大16.0㎥/s の水を取水して発電した後、下流の農業用水路に放流し、円筒分水（徳水園）を経由して胆沢平野の田畑へ農業用水を供給しています。

また、岩洞第一発電所では、岩洞湖にある岩洞取水口から、発電と農業用あわせて最大12.0㎥/s の水を取水して発電した後、下流にある岩洞第二発電所の水槽を経由し、滝沢駅近くにある円筒分水（南北分水工）から、盛岡市（旧玉山村）や滝沢市の田畑へ農業用水を供給しています。

なお、農業用水供給期間中は、岩洞第二発電所の運転を抑制することにより、岩洞第二発電所の水槽から最大9.0㎥/s の農業用水を供給しています。

そのほか、御所発電所では、下流の鹿妻穴堰で取水する農業用水を安定供給するため、発電水量の調整を行っています。

⑴　胆沢第二発電所

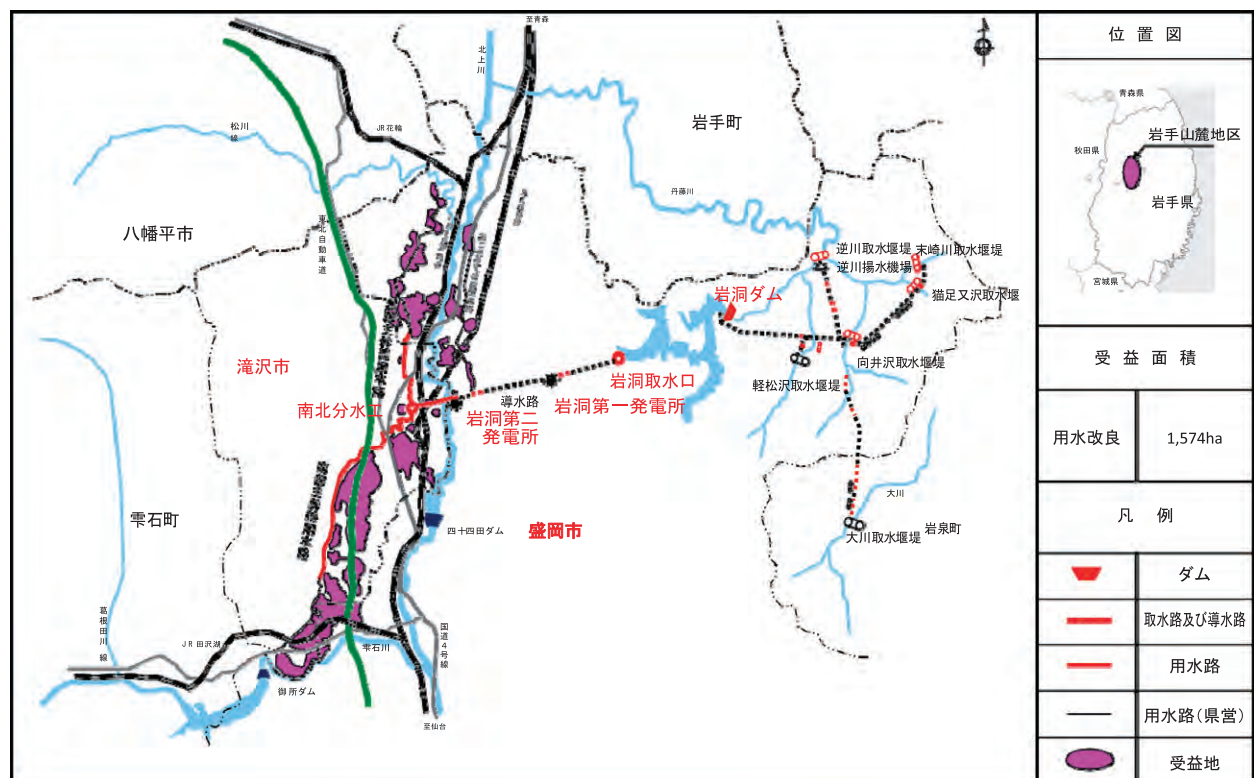
【写真】円筒分水（徳水園）
この施設は、胆沢第二発電所の下流にある、かんがい事業専用の施設です。
上流の胆沢第二発電所から放流された水は、ここから下流の田畑へ供給されます。

⑵　岩洞第一発電所・岩洞第二発電所

【写真】岩洞取水口
写真中央の円筒形のシリンダーゲートは、農業用水として表面の温かい水を取水するため設置されたものです。
かんがい期間中は、発電と農業用あわせて最大12.0㎥/s の水を取水しています。使用中は水中に設置され、水位の変動に応じて自動的に開度を調整しています。

【写真】岩洞第二発電所
上流の岩洞第一発電所で発電した後、写真左上の岩洞第二発電所の水槽を経由し、農業用水管橋（写真中央）を流下して下流の円筒分水へ送水されています。

【写真】円筒分水（南北分水工）
この施設は、岩洞第二発電所の下流に位置し、かんがい事業者が管理している施設です。ここから滝沢市と盛岡市の受益地に給水しています。

【岩洞第一発電所から農業用水を供給している地域（受益地）】

⑶　その他

【写真】鹿妻穴堰
かんがい事業者が管理する鹿妻穴堰は、御所発電所の下流に位置し、御所発電所が発電放流した水を取水して下流の田畑へ給水する、かんがい事業専用の施設です。